

令和2年10月30日

第533号

横浜市立日吉台小学校

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

# ひよげだい

## 経験したことない日々、でも精一杯頑張っている日吉台っ子

校長 玉置 恭美

ほんの少し前まで、「熱中症に注意して」が合言葉のようにになっていたのに、最近は、マスクを着用していても「暑い」と感じる事がなくなりました。運動会の練習で休み時間に外で遊べなかった分を取り戻すかのように、子どもたちは休み時間ごとに、校庭で元気いっ



ぱいに遊んでいます。給食に栗やサツマイモなど秋の味覚が取り入れられ、旬の食材に季節を感じる事のありがたさを感じます。早い

もので、暦は立冬へと向かっています。(冬至のカボチャも楽しみです)



10月9日が、節目の前期終業式でした。例年は、この終業式の日前期のあゆみが配付されますが、今年度は臨時休校期間や分散登校期間があったため、学習成果を見取ることや評価をするには授業期間が不足していると判断し、さらに1か月弱の授業を経て、11月6日に配付することにしました。今年度は新教育課程実施の年であり、新たなカリキュラム、学習感、そして評価観点での1年目です。日吉台小学校らしさを大切に、年間計画・行事の見直しや、1年生のスタートカリキュラムの再編成等、教職員一同、前年度から工夫を重ねてきました。しかし、想定外の感染症拡大予防への対策から、計画していたことは実施できないことが多くなり、「今までになかった」ことばかりになっています。毎年5月に行われていた運動会は10月に分散での実施、4年生以上の宿泊体験学習はすべて日帰りに変更、音楽集会も全体では実施できず、練習した成果をビデオに撮って互いに見合う形式に変更、などなど。様々な制約がある中、子どもたちは、できることを工夫し、約束を守りながら、新しい生活様式の中、精一杯学校生活を楽しもうとしています。

分散開催、完全入れ替え制で、児童1名につき保護者1名の参観で開催された運動会では、PTA、おやじの会の皆様はじめ、保護者の皆様に多大なるご理解とご協力をいただいたお陰で、子どもたちの日ごろの学習の成果を披露することができました。本当にありがとうございました。まだまだ、例年とは違った対応となることが多くあるかと思いますが、今後ともご協力をお願いいたします。地域の皆様にも、子どもたちが頑張る姿を見ていただく機会が早く訪れることを願っております。

### 日吉台小地域防災拠点訓練～今年度は規模を縮小して～

日吉台小学校は、大規模地震を想定しての地域防災拠点です。昨年の台風を経て、風水害でも区役所が避難所として日吉台小を使用する可能性がでてきました。避難の際、まずは「自



助」です。水道が止まったことを想定して数日分の飲み水と簡易トイレを各世帯用意することが一番大切だ、と消防署長さんが話してくださいました。感染症拡大防止対策の受付方法や、消火栓を使用しての放水訓練も行いました。